

暇水下 第1054号
平成28年2月19日

国土交通大臣 様

四條暇市下水道事業
四條暇市長 土 井 一 憲

社会資本総合整備計画の事後評価の報告について

社会資本整備総合交付金交付要綱第10第1項に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価を行ったので、別添のとおり報告する。

記

社会資本総合整備計画名称：鴻池処理区内の下水道整備計画及び長寿命化計画（防災・安全）

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年2月19日

計画の名称	1 鴻池処理区内の下水道整備計画及び長寿命化計画（防災・安全）									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	四條畷市					
計画の目標	讃良川排水区及び雁屋排水区の未整備区域の整備を行うことにより、安心安全で快適な暮らしを実現する。									
計画の成果目標（定量的指標）	讃良川排水区（合流）の未整備区域の整備（残33.5ha、平成21年度末現在） 下水道による浸水対策整備率を87.30%（H22）から89.43%（H26）に増加 田原処理区の流域編入に伴う接続污水管渠の整備（残5.5km） 污水管渠整備率を0%から64.1%（H26）に増加									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 下水道における浸水対策整備率	= 整備完了済み面積 (ha) / 雨水整備を実施すべき面積 (ha)			87.30%	87.60%	89.43%				
				—	—	89.48%				
② 田原処理区污水管渠整備率	= 整備完了済み延長 (km) / 整備を実施すべき延長 (km)			0.00%	0.00%	64.10%				
				—	—	52.26%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	511.6百万円 450.0百万円	A	504.7百万円 443.1百万円	B	0百万円	C	6.9百万円 6.9百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.3% 1.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
四條畷市社会資本総合整備計画の事業に係る事後評価実施要綱に基づき評価委員会を実施。その後、事後評価（案）を公示し縦覧を実施。	平成28年1月
	公表の方法
	四條畷市ホームページにて公表する。

交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業										全体事業費 (百万円)	備考						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)			市町村名	事業実施期間（年度）				
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	四條畷市	直接	—	合流	新設	鴻池処理区 讃良川排水区合流管渠	合流管 φ250～600 L=341m 合流管 φ250～600 L=341m	四條畷市						39.7 29.7	
1-A1-2	下水道	一般	四條畷市	直接	—	合流	改築	鴻池処理区 雁屋排水区マンホール蓋更新	排水区内311箇所 排水区内311箇所	四條畷市						37 37	長寿命化
1-A1-3	下水道	一般	四條畷市	直接	—	合流・汚水・雨水	改築	鴻池処理区内4排水区長寿命化計画	ポンプ室整理、管路調査及び計画策定 ポンプ室整理、管路調査及び計画策定	四條畷市						27.0 26.4	長寿命化
1-A1-5	下水道	一般	四條畷市	直接	—	汚水	新設	田原処理区 処理場間ネットワーク管渠及び実施設計	φ250 L=3526.0m φ250 L=2874.3m	四條畷市						362 324	
1-A1-6	下水道	一般	四條畷市	直接	—	雨水	改築	鴻池処理区 岡部排水区雨水管渠	雨水管 □1500×1600 L=67.5m 雨水管 □1500×1600 L=68.0m	四條畷市						39 26	
合計																504.7 443.1	

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	下水道	一般	四條畷市	直接	-	改築	鴻池処理区 雁屋排水区マンホール蓋取替	排水区内 5 6 箇所 排水区内 5 6 箇所	四條畷市						6.9 6.9	
合計												6.9 6.9				

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C1-1	基幹事業(1-A1-2)でマンホール蓋の取替を行う幹線に接続する支線(枝線)を一体的に取替を行う。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 1-A1-1及び1-A1-6の管渠整備を行った結果、浸水対策が発現できた。 1-A1-5を行った結果、流域編入に伴う管渠整備が発現できた。 															
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道における浸水対策整備の割合)	最終目標値	89.43%	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業においても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため増となった。	
		最終実績値	89.48%			
	指標②(田原処理区汚水管渠整備の割合)	最終目標値	64.10%	目標値と実績値に差が出た要因		接続先下流の未供用の流域下水道の施工時期が1年遅れる見込みとなり、それに合わせてH26施工分を次期計画に先送りし事業を取りやめたため減となった。
		最終実績値	52.26%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 1-A1-2 マンホール蓋更新について、長寿命化計画に合わせて施工を行い、浮上対策が発現できた。 1-A1-3 長寿命化計画について、データ整理は完了し、長寿命化計画を策定し事業を実施した。管路調査を行い、次期長寿命化計画策定の有無を判断できた。 															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

- 指標①に設定した浸水対策未整備地区については、ほとんどが農地であるので宅地化する際に管渠整備を行う。
- 指標②に設定した田原処理区の流域編入に伴う管渠整備については、次期計画で、未供用の流域下水道の供用開始時期に合わせて施工を行う。
- マンホール蓋更新については、新規長寿命化計画を策定する。
- 管路施設の長寿命化計画策定に向けた管路調査を行う。

計画の名称 鴻池処理区内の下水道整備計画及び長寿命化計画 (防災・安全)

計画の期間 平成22年度～平成26年度 (5年間)

交付対象

四條畷市

1-A1-1 鴻池処理区 讃良川排水区合流管渠 H22施工

1-A1-6 鴻池処理区 岡部排水区雨水管渠 H26施工

1-A1-5 田原処理区 処理場間ネットワーク管渠

実施工事施工H24 L=2874.3

1-A1-3 鴻池処理区 4排水区長寿命化計画
データ整理H22～24 管路調査H24

計画 工事施工H25～26 L=3526m

1-A1-2 鴻池処理区 雁屋排水区マンホール蓋更新 H22～25施工

1-C1-1 鴻池処理区 雁屋排水区マンホール蓋更新 H23～25施工

凡 例	
	行政区区域
	全体計画区域
	処理区境界
	下水道法による事業計画区域
	市街化区域
	環境基準区域
	公費防止区域
	都市計画区域
	汚水幹線
	流域下水道幹線
	汚水ポンプ場
	処理場
	自然公園区域
	新市街地事業区域
	平成21年度以前施行済

